

## 意識調査と国民生活世論調査の選択肢の設定方法等について

### 1 はじめに

県では、毎年度実施している「県の施策に関する県民意識調査（以下「意識調査」という。）」の中で生活全般の満足度を調査しています。また、内閣府が毎年度実施している「国民生活に関する世論調査（以下「国民生活世論調査」という。）」の中でも同様の事項を調査しています。一方、両調査は設問が類似しているものの選択肢の設定方法等は異なっている模様です。

本レポートでは、両調査の選択肢の設定方法の違い等について整理します。

なお、本レポートの中で示された内容や意見は、岩手県政策地域部調査統計課調査分析担当の見解であり、岩手県の公式見解を示すものではありません。

### 2 両調査の生活全般の満足度に関する設問等

両調査<sup>1</sup>は、生活全般の満足度について次のような設問や選択肢を設けています。

#### (1) 意識調査 問 1

##### ア 設問文

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

##### イ 選択肢

満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらとも言えない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
------------	--------------	-----------	------------	----------	-------

#### (2) 国民生活世論調査 Q 2

##### ア 設問文

あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

##### イ 選択肢

満足している	まあ満足している	やや不満だ	不満だ
--------	----------	-------	-----

一方、国民生活世論調査の結果は、次のような選択肢で公表されています<sup>2</sup>。

(ア) 満足している  
(イ) まあ満足している  
(ウ) やや不満だ  
(エ) 不満だ  
    どちらともいえない  
    わからない

<sup>1</sup> 意識調査は平成 30 年 1 月～2 月に実施した平成 30 年調査、国民生活世論調査は平成 30 年 6 月～7 月に実施した平成 30 年度調査に基づく。

<sup>2</sup> 内閣府ホームページ ([https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-life/3\\_chosahyo.html](https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-life/3_chosahyo.html)) から。

### 3 国民生活世論調査の調査方法

国民生活世論調査の選択肢の設定と結果の公表方法について、次のような説明がなされていました<sup>3</sup>。

- 国民生活世論調査の調査方法は、調査員による個別面接聴取法であること。
- 調査員は調査票を調査対象者には直接見せず、質問を読み上げる。調査対象者には選択肢が記載されている回答票が見せられ、調査対象者が選んだ回答を調査員が記録する。  
※上記結果公表の体裁の中で、(ア)～(エ)とカタカナが振ってあるのが回答票に記載された選択肢
- 調査対象者が「回答が選択肢の中にない」という場合は、調査員は調査対象者に「選択肢の中にないとはどういうことか」をよく聞き、その内容次第で「どちらともいえない」、「わからない」などと記録する。

また、「どちらともいえない」などの中間的な選択肢について次のような説明がなされていました。

「どちらともいえない」などの中間的な選択肢を設けず、どちらかを選んでもらうようにしている。内閣府の世論調査の結果と他の調査結果を比較するような場合、同じ質問文であっても「どちらともいえない」といった、中間的な選択肢が設けられている場合とそうでない場合とでは回答の傾向が異なる可能性があることに注意していただきたい。

これらのことから、意識調査結果と国民生活世論調査の結果を比較する場合は、個々の数値ではなく全体の傾向に着目する等慎重に行う必要があると思われます。

<sup>3</sup> 以下の説明は「国民の意識の変化の的確な把握に向けて－内閣府の世論調査から－」（「社会と統計」No.10 2013年3月）に基づく。

## 補足 意識調査と国民生活世論調査の結果比較

本レポートでは意識調査と国民生活世論調査の選択肢、調査方法の違い等を整理しましたが、補足として、両調査の結果数値を掲載します<sup>4</sup> <sup>5</sup>。

### (1) 意識調査の結果

(%)

満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
5.2	28.9	24.0	21.9	10.5	1.3	8.2
34.1			32.4			

### (2) 国民生活世論調査の結果

(%)

(ア) 満足している	(イ) まあ満足している	(ウ) やや不満だ	(エ) 不満だ	どちらともいえない	わからない
12.2	62.5	19.5	4.8	0.8	0.2
74.7		24.3			

前述のとおり国民生活世論調査では「(ア) 満足している」～「(エ) 不満だ」の中に回答したい選択肢がないと調査対象者が意思表示した場合のみ「どちらともいえない」や「わからない」が発生しますので、意識調査と比較すると「どちらともいえない」や「わからない」が非常に少ないことが見られます。

また、意識調査は調査票を調査対象者に郵送して返送してもらう方法で実施していて、返送された調査票が未記入等だった場合は「不明」と整理しますが、前述のとおり国民生活世論調査は個別面接聴取法で実施しているので「不明」は発生しないことも見て取れます。

<sup>4</sup> 比較対象は脚注1に記載した調査である。

<sup>5</sup> 意識調査の「どちらともいえない」24.0%をすべて満足に足しても58.1%に留まり国民生活世論調査の74.7%に届かないことについて、調査員に向かって直接話して回答する場合は調査票に丸印をつけて回答する場合よりも不満の表明をためらう意識が働くのではないかと、といったことも想像されるが、分析は困難である。